

【2月号：バナナの国で平泳ぎ】

2013年2月26日

谷口晃親

皆さん、こんにちは！7月4日に日本を飛び出して、約8ヶ月が過ぎました。時間が過ぎるのは早いですね。僕は今、南米の国エクアドルで働いています。エクアドルと聞いてみなさんは何を想像しますか？2013年の年末には悲しい事件が起きてしまい、危ない国という印象が強いかもしれません。しかし、本当はエクアドルには良いところがたくさんあります。現地に住むことでしか伝えられない情報を、僕のレポートを通じて発信したいと思います。

#### <自己紹介>

平成25年度1次隊としてエクアドルに派遣されました谷口晃親と申します。青年海外協力隊での仕事は水泳指導です。3歳の時に喘息を患い、その時に水泳を始めました。青年海外協力隊になるまで色々な形で水泳に携わりました。大学ではイタリア語を専攻し、将来はオリンピックで働くのが夢です。その夢を叶えるための一歩が協力隊の活動になると思っています。

#### <バナナの国、マチャラ>

僕が働いているのは、エクアドル南部に位置するエルオロ県マチャラ市です。街中にはバナナを無料で提供してくれるレストランがあったり、ご飯のおかずで焼きバナナが日常的に出てきます。そのバナナの生産量からバナナ王国という別名を持つくらいバナナで成り立つ町に住んでいます。冷たい牛乳とバナナのミックスマグは栄養満点で欠かせない飲み物です。

#### <水泳指導>

エクアドルにもプールがたくさんあります。25mや50mのプールはもちろんのこと、2000mを超えるプールも少なくありません。そんなに長いプールが必要なの？と思われるかもしれません。実はこれは標高のことです。スポーツでよく高地トレーニングという言葉が耳にすくと思います。日本では強い選手が合宿で取り入れる強化方法ですが、この国では一味違います。普段の生活の場が高地であり、生活が自然とトレーニングになる国なのです。しかし僕の職場は海拔0mにあります。職場のプールで練習する選手達には自分というライバルとエクアドルという環境がハードルがつきまといまいます。日本にいては中々体験することが出来ないハードルを克服したり、異文化交流などをしながら、子供たちには水泳を楽しんでもらうのが僕の仕事です。

#### <年末に起きた邦人事件>

2013年の年末にマチャラ市から3時間離れた都市グアヤキルで日本人旅行者が襲われる事件がありました。犯行グループは旅行客を一定時間誘拐し、金品を強奪するのが目的だったそうです。事件当日に同じ都市に居たので、標的は自分たちだったかもしれないと考えると寒気がします。事件後犯行グループは捕まりました。一部がマチャラ市で逮捕されたと聞いて驚きました。マチャラ市は国境付近にあり、ペルーがすぐそこにあります。国境付近は治安が悪いと聞くので一層の注意が必要ですね。仕事終わりはなるべく、選手や同僚と帰宅するようにしています。日本は海に囲まれていて、毎日の生活で国境を意識することはありません。こういった安全意識も海外生活ならではのことで、外国に住んでいるなあと感じさせてくれます。